

豊春地区公民館・豊春第二公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

◇重点施策

- 1 地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。
- 2 家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。
- 3 地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

◇重点事業

- | | |
|----------------|------------|
| 1 えん JOYトレーニング | 2 とよはる音楽祭 |
| 3 いきいき学級 | 4 豊春公民館文化祭 |
| 5 小・中学生期家庭教育学級 | 6 豊春地区体育祭 |

豊春地区公民館

所在地 〒344-0046 春日部市上蛭田101番地2

TEL 048-754-0942

FAX 048-754-0942

E-mail toyokou@city.kasukabe.lg.jp



豊春第二公民館

所在地 〒344-0066 春日部市豊町5丁目14番地1

TEL 048-754-2100

FAX 048-754-2100

E-mail toyo2kou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	溝口 通明
	主査（兼務）	芳池 修
	主任（兼務）	石橋 奈々子
	主事（兼務）	飯塚 千菜津（社会教育主事）
	フルタイム（兼務）	野口 浩之
	フルタイム（兼務）	和田 泉
	フルタイム（兼務）	坂本 きよみ

豊春地区 1

事業名 テーマ	高齢者向けスマホ教室		対象	①～③:一般 ④⑤:65歳以上		定員	各10人	
ねらい	スマートフォンの操作に不安のある高齢者を対象に、簡単な行政手続きができるようになることを目標として、操作の基礎を学習する機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	前年度12月 講師打ち合わせ 前年度 3月 講師打ち合わせ 5月 6日(土) 抽選結果発表 5月18日(木) 事業実施 11月 7日(火) 講師打ち合わせ 12月23日(土) 抽選結果発表 2月 1日(木) 事業実施		PR方法	公民館だより4、12月号、ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	直接または電話で申込み 公開抽選で参加者を決定				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月18日(木)	10:00～11:00	1日に3種類の講座を開催 ①「はじめての スマートフォン」	講義	4	6	10	ドコモショップ 春日部ハクレン 通り店スマホ講師 	
	12:00～13:00	②「スマートフォンで 災害に備えよう」	講義	1	8	9		
	14:00～15:00	③「スマートフォンで カメラを使おう」	講義	2	6	8		
2月1日(木)	13:30～14:45	1日に2回同じ講座を開催 ④「スマホ操作の 基本を学ぼう」	講義	3	7	10	春日部市役所 行政 デジタル改革課職員 	
	15:30～16:45	⑤「スマホ操作の 基本を学ぼう」	講義	0	9	9		
2回	5時間30分			10	36	46		
企画運営上の工夫	・令和3年度から公民館に導入するWi-Fiを活用した講座として企画した。 ・スマートフォンの操作について、不慣れな人から慣れている人まで多くの人が参加できるように、5月の講座では3種類の内容の講座を実施した。 ・関心が高く人気の講座であることから、先着順ではなく抽選で参加者を決めるなど、混雑を回避する工夫をした。							
成果 参加者の声など	・講座後のアンケートでは、「スマートフォンを初めて使用しましたが大変分かりました」、「知らない事もあり、楽しく学習できました」などの声が寄せられ、高齢者のデジタル活用を支援することができた。							
課題と展望	・両回とも多くの参加申し込みがある関心の高い事業であったことから、高齢者のデジタル活用を支援する事業を今後も継続して実施していきたい。							

事業名 テーマ	みんなが集えるアート展		対象	一般		定員	—	
ねらい	公民館ロビーを絵画、書道、俳句などの作品展示に開放することで、利用者や地域住民が日頃の創作活動を発表できる場とし、美術、芸術を育む心を醸成する。また、利用団体が会員募集の情報を掲示することで公民館利用の拡充を目指す。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 ロビー 豊春第二公民館 ロビー		教材 資料等					
実施までの経過	4月上旬 5月20日(土) 6月 1日～3日 6月 4日(日) ～6月17日(土) 6月18日～21日		参加申込書を配布 参加受付終了 作品搬入 作品展開催 作品搬出	PR方法	公民館だより4、5、6月号、ポスター、チラシに掲載			
				受付方法	出品者は、5月20日(土)までに、参加申込書を展示を希望する公民館へ提出			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月4日(日) ～6月17日(土)		豊春地区公民館・豊春第二公民館のロビーで作品展を実施	展示	290 310	1090 780	1380 1090	出展者 豊春地区公民館 団体：7団体 個人：22人 豊春第二公民館 団体：1団体 個人：12人	
1回	12日間			600	1870	2470		
企画運営上の工夫	・例年、豊春地区公民館で開催している「藤のお花見会」の代替として、引き続きロビーを使用した作品展を開催した。 ・利用団体の展示と併せて会員募集情報を掲示し、公民館利用の拡大を目指した。 ・今回新たに、アート展全体に関するアンケートのほかに、作品の感想を直接作者に届けられるような仕組みとして、メッセージカードを設置した。							
成果 参加者の声など	・来場者のアンケートには「力作ぞろいの展示を見て自分もこの人達のように頑張ろうと思いました」、「展示を楽しませていただきました。これからも続けてください」など、好意的な意見が多数寄せられた。 ・また、出品者のアンケートには「今回から作品を観ていただいた方々からの感想もあり良かった。全体的に作品数も増え、出展しがいのあるアート展になった。毎年出展させていただきます」などの感想も寄せられ、アート展が出品者にとって日頃の活動の励みとなっていることがうかがえた。							
課題と展望	・豊春第二公民館の出品者からは、展示スペースが狭いことについて意見が多くあり、次年度以降は、展示時期を2部制にしたり、スペースの確保が可能な地区公民館のみの開催にしたりするなどの事業の実施方法について検討する必要がある。							

事業名 テーマ	遊学会「親子で作ろう!工作用紙で恐竜づくり」		対 象	小学生と保護者		定員	30組	
ね ら い	与えられたものだけで遊ぶのではなく、身近なもので手作りする楽しさや、大切さを学ぶ機会として実施し、創造性を養う。							
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員		特 色 位置づけ				SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春地区公民館 講堂		教 材 資料等	恐竜作成の材料				
実施までの 経 過	4月26日(水) 打ち合わせ 7月上旬 小学校にチラシの 配布依頼		P R 方法	公民館だより7月号、 ポスター、チラシ、 豊春地区内の小学校にてチラシ を配布、市公式SNSに掲載				
	7月 8日(土) 申込受付開始 7月30日(日) 事業実施		受付開始	7月8日(土)より豊春地区公民館 に直接または電話で申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月30日(日)	10:00～11:30	工作用紙で恐竜を作成 する 恐竜の時代についての 説明	実習	8	6	14	講師： 生涯学習市民推進員 杉山 充男 講師補助：早坂 隆 津布久 常之	
								
1回	1時間30分			8	6	14		
企画運営上 の工夫	・昨年度に実施した本事業で作成できる恐竜は、ティラノサウルスの1種類だけだったが、今年度は、トリケラトプスとステゴサウルスを追加して3種類から選ぶことができるようにした。 ・恐竜を作成するだけでなく、恐竜が暮らしていた時代についての学ぶことで、古生代への関心を高めた。							
成 果 参 加 者 声 な ど	・児童用のアンケートでは「楽しかった。また来たい」、「とても楽しかったです。次はちがう種類の恐竜を作りたいです」などの感想が寄せられ、恐竜の時代についての知識を深め、身近なもののでの工作をする楽しさを知ることにつながった。							
課題と展望	・参加した保護者用のアンケートでは「子どもでも出来る講座でとても楽しめました。なかなか家では出来ないのこういった講座があると気軽に参加出来るので嬉しいです」、「なかなか子どもとの時間がとれないため、一緒に物をつくる取り組みが出来て良かったです」と回答があり、親子で取り組む事業を今後も継続していきたい。							

事業名 テーマ	夏休み小・中学生体験シリーズ 楽しく和太鼓を体験してみよう!!		対 象	小・中学生		定員	20人	
ね ら い	夏休みに子どもの居場所を提供するとともに、体験活動を通して地域コミュニティの大切さを知ってもらう。また、それぞれの文化活動を体験することで創造性を養う。							
協力機関 及び団体	清心太鼓（公民館利用団体）		特 色 位置づけ	新規事業		SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	和太鼓、講師作成資料				
実施ま での 経 過	5月20日(土) 事前調整 5月27日(土) 事業概要打合せ 6月10日(土) 事業内容・広報原稿 7月21日(金) 申込受付開始 7月30日(日) 進行方法・内容確認 8月17日(木) 事業実施		P R 方法	公民館だより7、8月号、 ポスター、チラシ、 豊春地区内の小学校にてチラシ を配布、市公式SNSに掲載				
			受付方法	豊春第二公民館に直接または電 話で申込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月17日(木)	10:00～11:30	清心太鼓演奏披露 バチの握り方・打ち方 基礎打ち 演奏練習	実習	11	9	20	清心太鼓 代表 野内 雅矢 外7名	
								
1回	1時間30分			11	9	20		
企画運営上 の 工 夫	・今年度から夏休みの継続事業として定着できるよう、普段なかなか体験することができない文化活動を選んで開催した。 ・対象者を小・中学生に限定したが、保護者や家族も見学という形で子どもたちと一緒に参加できるよう配慮した。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・公民館利用団体が講師となって文化活動を体験できたことは、地域コミュニティ推進の面からも非常に有意義であった。 ・参加した子どもたちからは、「たくさん太鼓を叩いたので楽しかった」「太鼓の音がとても大きくてびっくりした」「最初は難しかったけど、最後になると簡単だった」など、体験教室ならではの声が寄せられた。							
課題と展望	・夏休みの期間を利用して、普段なかなか体験することができない文化活動を中心にシリーズ化を図っていきたい。 ・小・中学生が対象の事業であるが、夏休みの部活動などの関係からか中学生の参加者がいなかった。今後、対象者について更に検討する必要があると思われる。							

事業名 テーマ	遊学会「やさしい!わかる! パソコン教室」～ワードで イベントチラシを作ろう～		対 象	一般		定員	10人	
ね ら い	パソコン初心者を対象に、パソコンの基礎知識を学習する機会を提供し、デジ タル活用の支援を目的とする。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 研修室		教 材 資料等	講師作成資料				
実施ま での 経 過	4月26日(水) 打ち合わせ 7月13日(木) 打ち合わせ 8月12日(土) 申込受付開始 9月13日(水) 事業実施		P R 方法	公民館だより8月号、 ポスター、チラシに掲載				
			受付開始	8月12日(土)より豊春地区公民館 に直接または電話で申込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月13日(水)	14:00～15:30	パソコン教室 チラシ作りの講習	実習	0	6	6	講師： 生涯学習市民推進員 杉山 充男 講師補助： 津布久 常之	
								
1回	1時間30分			0	6	6		
企画運営上 の 工 夫	・ イベントチラシを作成する過程でワードの基本的な操作方法を学習し、普段 の生活でもパソコンを有効活用する方法を学んだ。 ・ 文字入力に不慣れな参加者は、事前に文字入力をしたデータを使用するな ど、参加者のレベルに合わせた工夫をした。							
成 果 参 加 者 声 な ど	・ 参加者のアンケートでは「分かり易くご指導していただき、とてもよかった です」、「わからない点が多かったが、丁寧に教えて頂けて良かった」などの 感想が寄せられており、パソコンの難しい操作にもかかわらず、講師の丁寧な 指導により大変満足度の高い教室となった。							
課題と展望	・ 講師のパソコンとプロジェクターとの接続がうまくいかなかったため、今後は 代替の手段についても用意をする。 ・ 多くの参加者から継続して教室を開催してほしいと感想が寄せられたことか ら、参加者の学習意欲を沸き立たせ、高齢者のデジタル活用を支援することが できた。							



事業名 テーマ	第69回 豊春地区体育祭		対 象	地区住民		定 員	—	
ね ら い	スポーツ・レクリエーションを通して地区住民の健康と体力の向上を図るとともに、相互の交流と親睦を深めて健全な地域の発展を図る。							
協力機関 及び団体	豊春小学校 豊春地区体育祭実行委員会		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	3、4、11	
会 場	豊春小学校 校庭		教 材 資料等	プログラム、競技台本				
実施ま での 経 過	4月19日(水)主催者会議 5月21日(日)春日部市民体育祭実行 委員会 6月10日(土)体育祭幹部会議 7月22日(土)第1回本部役員会議 9月 3日(日)チーフ連絡会議・総会 9月30日(土)体育祭前日準備 10月 1日(日)体育祭実施 12月 3日(日)第2回本部役員会議		P R 方法	体育祭プログラム配布 公民館ブログに掲載				
			受付方法	地区対抗種目：各チームごとに取りまとめ、豊春地区公民館へ提出 自由参加種目：申込不要				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
10月1日(日)	8:45～14:30	豊春地区体育祭 自由参加種目 9種目 地区対抗種目 4種目	競技	800	700	1500		
								
1回	5時間45分			800	700	1500		
企画運営上 の 工 夫	・前年度の検討会での意見を取り入れて、幅広い年齢が参加できる地区対抗種目に変更し、自治会の選手集めの負担を軽減した。 ・今年度新たに、学生ボランティアとして地元の中高生が放送係や用具係として参加したことにより、競技だけでなく役員の中でも世代を超えた交流の場とした。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・今年度の大会は4年ぶりの開催となり、大会運営の面で課題や改善するべき点の意見も寄せられたが、地域住民が一堂に会する体育祭の開催を喜ぶ声も多く寄せられた。							
課題と展望	・今年度の大会は4年ぶりの開催となったが、開催後の会議での意見等を踏まえて体育祭の競技種目や競技役員の割り振り等についても見直しをして、地域住民同士で協力し合える運営方法を検討していく。							

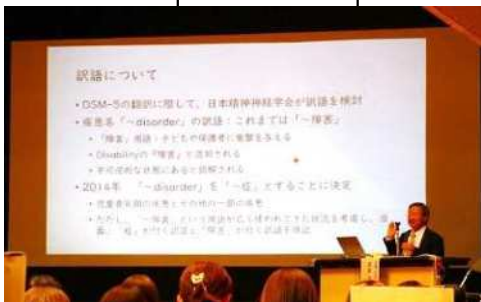
事業名 テーマ	第26回 豊春第二公民館文化祭		対象	公民館利用団体 ・一般		定員	—	
ねらい	公民館利用団体が日頃の活動成果を発表し、新たな創作活動への意欲を育むとともに、市民同士が交流を図ることで、公民館活動の拡大を目指す。							
協力機関 及び団体	豊春第二公民館文化祭実行委員会 P Aサークル プラグド		特色 位置づけ				SDGsの 目標No	4、11
会場	豊春第二公民館		教材 資料等	プログラム 各種イベントごとに資料等				
実施までの経過	8月17日(木) 第1回実行委員会 9月14日(木) 第2回実行委員会 10月15日(日) } 文化祭作品展開催 ~10月29日(日) 10月29日(日) 文化祭 実施		P R 方法	公民館だより10月号、プログラム、ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	サークルは当日受付 開催当日の観覧、参加は自由				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
10月29日(日)	10:30~15:00	舞台・展示・体験・販売に分かれて活動成果を発表 社交ダンスパーティー	発表	40	210	250	公民館利用団体 ステージ 10団体 展示 2団体 販売 1団体	
	16:00~19:00		発表					
10月15日(日) ~10月29日(日)		文化祭作品展	展示					
							<協力団体> わかば春日部 第3地域 包括支援センター	
1回	11日間			40	210	250		
企画運営上の工夫	・立野小学校の作品を同時に展示したことにより、より多くの住民に足を運んでもらうことができた。 ・昨年度のアンケートに、文化祭に参加した団体に参加したいとのご意見があったことから、今年度新たに、プログラムにサークルの会員募集情報を掲載した。							
成果参加者の声など	・文化祭後のアンケートでは「発表する皆さんはとてもハツラツとしていてパワーをいただきました。手作りの小物もかわいらしくてついつい買ってしまいました」、「今回文化祭に来て見て楽しかったです。竹とんぼなどの実際に作って遊べるところも良かったなと思いました」などの声が寄せられ、活動成果を地域住民に発表するよい機会となった。							
課題と展望	・文化祭の参加団体のアンケートでは、多くの方に見に来てほしいといった声が寄せられた。次年度以降は、参加団体や来場者が増えるように、内容や広報の方法を工夫し、より充実した事業としていく。							

事業名 テーマ	第61回 豊春演芸のつどい		対象	豊春地区いきいきクラブ連合会会員・一般		定員	—
ねらい	日頃の演芸活動の成果を発表・鑑賞する場を提供すると共に、地域住民の交流・親睦を深める機会とする。						
協力機関 及び団体	豊春地区いきいきクラブ連合会		特色 位置づけ	豊春地区いきいきクラブ連合会との共催事業		SDGsの 目標No	3、4、11
会場	豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	プログラム			
実施までの経過	10月26日(木) 拡大会議 11月24日(金) 音響機器搬入 11月25日(土) 前日準備 11月26日(日) 事業実施		PR方法	公民館だより10月号に掲載			
			受付方法	豊春地区いきいきクラブ連合会会員の出演については、連合会で取りまとめ 会員以外については、先着順に5団体まで豊春地区公民館及び豊春第二公民館の窓口で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月26日(日)	9:15～15:00	成果発表 (民謡・カラオケ・コーラスなど)	発表 観賞	33	90	123	
							
1回	5時間45分			33	90	123	
企画運営上の工夫	・プログラム編成や当日の運営等については、豊春地区いきいきクラブ連合会に委ね、可能な限り市民の自主的な運営による実施を目指した。 ・今年度から豊春第二公民館で年1回の開催のみとなり、より充実した内容を目指した。						
成果参加者の声など	・今回も43演目が披露され、出演者、観客ともに大変盛況であった。 ・参加者からは「毎年、発表の場があることで活動の励みになる」といった声が寄せられ、いきいきクラブ連合会活動の一助とすることができた。						
課題と展望	・事業内容の企画・運営等を豊春地区いきいきクラブ連合会との共催事業として実施しており、今後も継続していきたい。						

事業名 テーマ	とよはる音楽祭		対 象	一般		定員	150人	
ね ら い	地域と公民館のさらなる発展・交流の拡大を、音楽を通じた手法により目指す。また、全国で演奏活動をしている団体の演奏を聞く機会を提供する場とする。							
協力機関 及び団体	P Aサークル プラグド		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 講堂		教 材 資料等					
実施までの経過	6月中旬 9月下旬 10月上旬頃 12月2日(土) 出演者折衝 出演者依頼 出演調整 事業実施		P R 方法	公民館だより10月号、プログラム、ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	自由参加				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月2日(土)	14:00～15:15	音楽鑑賞 ヴァイオリン・ピアノの コンサート	鑑賞	28	124	152	出演者 桜井 大士 正田 彩音 (森音楽事務所所属)	
								
1回	1時間15分			28	124	152		
企画運営上の工夫	・全国的に演奏活動をしている音楽団体を招聘し、上質な音楽を提供できるようにした。 ・今回は従前の当日受付に戻し受付事務を簡略化した。 ・今年度新たに、音響操作としてP Aサークルプラグドに音響操作を協力していただき、本格的な演奏会を開催することができた。							
成果 参加者の声など	・「普段このような音楽を聞かせて頂くことがないので、ほんとうに素晴らしい演奏でした。夢のようなひとときを過ごさせて頂き本当に有難うございました」、「久しぶりに生の演奏を聴かせていただきました。会場が一带となりすばらしい時間を共有させていただき、ありがとうございました」など、演奏に感動したといった感想が多数寄せられ、充実した時間を提供することができた。							
課題と展望	・100人以上が来場した関心の高い事業であることから、来年度以降も継続して、文化芸術振興のため音楽鑑賞の機会提供していきたい。							

事業名 テーマ	豊春防災対策事業 豊町自治会 豊春第二公民館 合同防災訓練		対象	一般		定員	なし	
ねらい	避難場所である公民館と地区内の防災組織が連携し、より実践的な防災訓練を行うことにより、地域の防災力を高めることを目指す。							
協力機関 及び団体	豊町自治会（自主防災会） 協力：危機管理防災課		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11、 13	
会場	豊町第4公園（豊春第二公民館裏）		教材 資料等					
実施までの経過	11月上旬 自治会打合せ 12月9日（土） 防災資材準備 12月10日（日） 事業実施		PR方法					
			受付開始	参加者は事前に豊町自治会で取りまとめる				
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月10日（日）	10:00～12:00	地震体験車 地震体験 消火訓練 救命救急訓練 避難所開設について	実習 実習 実習 講習	38	44	82	危機管理防災課	
								
1回	2時間			38	44	82		
企画運営上の工夫	・公民館に備えてある組み立て式の間仕切りや、簡易ベッドといった避難所開設時の物資を使用して避難所運営について説明した。 ・豊町自治会と連携して救命救急訓練や消火器訓練など、実践的な防災訓練を実施した。							
成果の 参加者 声など	・地域住民が訓練に参加することによって、災害時に地域住民の協力のもと、スムーズに避難所を運営できるようになった。 ・公民館が避難所となっていることを改めて周知し、防災訓練をとおして地域住民の防災意識を高めた。							
課題と展望	・今後も自治会や自主防災会との連携を深め、自治会と公民館が連携した防災事業を継続的に実施する必要がある。 ・避難所に指定されている公民館として、地域の自治会と共同して防災力を高めるための勉強会や訓練を、次年度以降も継続して開催していきたい。							

事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対 象	豊春地区内小中学校PTA会員		定 員	100人	
ね ら い	小・中学生の子どもを持つ親の在り方、生き方、子の育て方を学ぶ場とする。家庭を取り巻く現状の把握と、その解決法を学び、参加者の自発性を高めることを目指す。							
協力機関 及び団体	豊春・立野・宮川小学校、 豊春・大增中学校 各PTA		特 色 位置づけ	豊春地区内小中学校PTAと共催		SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 講堂		教 材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	前年度2月頃 講師折衝 7月 5日(水) 第1回企画委員会 9月上旬頃 第2回企画委員会 12月14日(木) 講演会 実施 2月 5日(月) 講演動画配信 ～3月 5日(火) }		P R 方法	各PTAより会員へ通知				
			受付方法	PTA役員から、児童生徒を通じて参加申込書を配布し各学校ごとにとりまとめて豊春地区公民館へ提出				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月14日(木)	11:00～12:30	発達障害のある 子どもたちの理解	講演	7	56	63	筑波大学教授 医学博士・小児科医 宮本 信也	
							(講師依頼元： 公益財団法人 明治安田こころの 健康財団)	
1回	1時間30分			7	56	63		
企画運営上の工夫	・専門的な知識を有する講師をお呼びするため、前年度の企画会議内で次年度のテーマを決めておき、早い段階から講師を探す工夫をした。 ・今年の講演会では、参加者を各学校の保護者だけでなく、地域住民も参加できるように対象を広げたことにより、発達障害に関心がある方や保育士など子どもと関わる仕事をしている方達へ学習機会を提供することができた。							
成 果 参加者の声など	・当日は講師から、発達障害特性のある子どもの心に寄り添った支援の考え方についてご講演いただき、参加者からは「先生の講義はとても分かりやすく勉強になりました」、「今回お聞きしたお話を活かし、今後の障害のある子どもたちとの関わりをより一層深めていきたいと強く思いました」などの声が寄せられ、保護者の学びを支援することができた。 ・PTA会長の協力により、講演会の映像を保護者に向けて配信したことで、当日参加できなかった保護者に対しても学習機会を提供することができた。							
課題と展望	・前年度は午後の開催となり、参加できない保護者がいたが、今回は午前中の開催に変えたことによって、前年度より多くの参加があった。 ・次年度は、開催時間を変更するなど、より多くの保護者が参加できるようにするため、従来と異なる開催方法についても検討する必要がある。							



事業名 テーマ	人権問題研修会		対象	公民館利用団体、一般		定員	-	
ねらい	豊かな人間関係づくりを目指し、偏見や差別等の人権問題について認識を深めるとともに、人権問題の早期解決に向けた人権意識の高揚を図り、明るいまちづくりを推進していく。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	利用者のつどいと同時開催		SDGsの 目標No	4、10、 11	
会場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	人権啓発DVD 「性の多様性とLGBTQ+」				
実施までの経過	12月5日(火)公民館利用団体 通知文書配布 1月24日(水)豊春地区公民館つどい 1月25日(木)豊春第二公民館つどい		P R 方法	公民館利用者団体あて通知を配布する				
			受付方法	会場入口で受付ける				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月24日(水)	9:35～10:00	<豊春地区公民館> 趣旨説明、DVDの上映	観賞	6	19	25		
1月25日(木)	14:05～14:30	<豊春第二公民館> 趣旨説明、DVDの上映	観賞	5	13	18		
								
								
2回	50分			11	32	43		
企画運営上の工夫	・多くの人に参加してもらうため、「利用者のつどい」の一環として実施した。 ・誰もが自分らしく生きるために、多様な「性のあり方」についての基礎知識を学び、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えるきっかけとして、人権啓発用DVDの上映を行った。							
成果 参加者の声など	・参加者からは、「いろいろ参考になりました」、「性の多様性といわれることが多くなったので、知る機会としてよかった」など、研修をきっかけにして人権問題についての関心を深めることができた。							
課題と展望	・現代においても、未だ解決に至っていない人権問題について、参加者それぞれが再考する機会として、今後も継続が必要な事業である。							

事業名 テーマ	サークル体験		対 象	一般		定員	-	
ね ら い	サークル会員の高齢化などの影響もあり、会員の減少やサークルの解散などが 増えており、対応が必要になっている。また、公民館でのサークル活動に興味 はあるが、一歩踏み出せない方への手助けとなるよう、体験会を実施し、さら なる公民館活動の発展を目指す。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 豊春第二公民館		教 材 資料等					
実施まで の 経 過	11月17日(金) 申込書配布開始 12月24日(日) 申込書受付期限 1月19日(金) 原稿確認期限 2月上旬 公民館だより配布 2月 9日(金) } 実施期間 ~3月 9日(土)]		P R 方法	利用団体へは窓口で周知 参加者へは公民館だより12月 号、ポスターに掲載				
			受付方法	事前申し込みが必要なサークル を除き、当日自由参加				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
2月9日(金) ~3月9日(土)		豊春地区公民館 85回 豊春第二公民館 55回 普段のサークルの様子を 見学・体験する	体験 体験	5 5	60 39	65 44	参加サークル 豊春地区公民館 33団体 豊春第二公民館 19団体	
1回	1か月間			10	99	109		
企画運営上 の 工 夫	・公民館活動を紹介する「サークル紹介ポスター」の掲示を前年度に引き続き 掲示をした。 ・サークル体験実施日には、部屋の前に案内看板の設置や本日の案内板に表示 するなどして、初めて公民館を利用する人が参加しやすいように努めた。							
成 果 参加者の 声 など	・参加した団体から、「実際に体験者に活動を見ていただき、体験していただ き良かったと思います。掲示板にチラシを出しても体験までとは行かず、活動 を知るきっかけになったのでサークル体験はこれからもやっていただきたいと 思います」や、「熱心にレッスンに向き合ってくれる様子、うれしかったで す。この機会にクラブに興味を持っていただき、私達の仲間になってくれたら もっとうれしいと思います」などの声が寄せられ、公民館活動の活性化に寄与 することができた。							
課題と展望	・サークル体験に参加した団体からは、体験の期間を増やしてほしいとの要望 が多く上がったことから、今後本事業のやり方についても工夫が必要だと思わ れる。 ・また、体験期間中に1人も見学に来なかった団体もあったことから、周知方法 についても工夫が必要である。 ・また、サークル紹介ポスターも有効に活用してもらい、年間を通してサーク ル活動の情報を掲示し、サークル活動を支援していく。							

事業名 テーマ	チャレンジクッキング そば打ちを体験してみよう！		対 象	一般		定員	5人	
ね ら い	日常生活に欠かせない食を通して食文化の素晴らしさを感じていただくとともに、新たなものにチャレンジすることで自己啓発の一助とする。また、既存のサークル団体に講師を依頼し、より一層の地域コミュニティの推進を図る。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春第二公民館 調理室		教 材 資料等	講師作成資料				
実施ま での 経 過	11月 5日(日) 事前打合せ 11月11日(土) 実施内容打合せ 12月上旬 公民館だより配布 12月16日(土) 申込受付開始 1月28日(日) 事業実施		P R 方法	公民館だより12月号掲載				
			受付方法	12月16日(土)より、豊春第二公民館に参加費1,500円を添えて直接申込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月28日(日)	10:00～13:00	蕎麦打ち実習	実習	2	3	5	蕎麦の会 藤 会長 村上修一 横山忠弘 外2名	
1回		3時間		2	3	5		
企画運営上 の 工 夫	・今年度からチャレンジクッキングと称し、本格的な料理を身近に体験できる講座を念頭に企画した。 ・地区公民館で積極的に活動しているサークル団体に講師を依頼することで、当館での新たなサークル団体の拡大と活性化を図った。 ・調理室の限られたスペースを考慮して参加人数を決定した。 ・蕎麦打ち用具一式を講師のサークル団体に依頼した。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・講師をはじめ、サークル団体の方々がマンツーマンで基本から料理の完成まで丁寧にご指導をいただいたことで、参加者の満足度は非常に高かった。 ・新たなことにチャレンジすることで自己啓発の一助となった。 ・参加者からは、「初めてのそば打ち体験とても楽しかった」「難しかったですがとても楽しかった」など、充実した感想が述べられた。							
課題と展望	・身近な公民館で本格的な料理にチャレンジできる機会として今後も継続していきたい。 ・サークル団体や市民団体で活動する地域の方を講師に迎え、公民館の活性化と地域コミュニティの拡大を図っていきたい。							



事業名 テーマ	小学生料理教室 「ミートパイ・チョコパイをつくらう♡」		対 象	小学生3～6年生		定員	16人	
ね ら い	子ども達が簡単に自宅でも作れる料理を学ぶ教室とする。 手作りの楽しさを味わってもらう。							
協力機関 及び団体	春日部市食生活改善推進員		特 色 位置づけ				SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春第二公民館 調理室		教 材 資料等	レシピ				
実施ま での 経 過	9月14日(木) 事前打合せ 10月22日(日) 詳細打合せ 11月24日(金) レシピ(案)の作成 2月10日(土) 申込受付開始 3月 9日(土) 事業実施		P R 方法	公民館だより2月号掲載				
			受付方法	2月10日(土)より、豊春第二公民館に参加費500円を添えて直接申込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
3月9日(土)	10:00～13:00	<メニュー> ミートパイ・チョコパイ コールスローサラダ グレープラッシー	実習	2	9	11	春日部市食生活改善推進員 4名 島倉 大島 佐々木 喜内	
								
1回	3時間			2	9	11		
企画運営上 の 工 夫	・調理台及び食生活改善推進員の指導体制を考慮した上で、参加人数を決定した。 ・4班体制で行い1班に1人の推進員が指導することで充実した実習ができた。 ・参加する子ども達らの食物アレルギーを確認するために申込み受付時に事前確認票を提出していただいた。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・食生活改善推進員の指導により、料理の基本と食の大切さを学ぶことができた。 ・アンケートでは、「自分でパイを作れてたのしかった」「上手にできて自信がついた」との声があり、班の仲間と協力し料理を作ることの楽しさを学び、食することにより充実感を養うことができた。							
課題と展望	・参加者が定員に満たなかったため、開催時期を再度検討する必要もある。 ・参加者の全員が家で料理を作った経験があり、料理に対する関心が高いため食育の観点からも継続していきたい事業である。							

事業名 テーマ	親子の広場		対 象	乳幼児・保護者		定員	-	
ね ら い	子育て中の保護者が、子どもを遊ばせながら育児の不安や悩みなどを情報交換するとともに、子ども同士の遊びの中から社会性を養う場とする。							
協力機関 及び団体	豊春地区更正保護女性会		特 色 位置づけ				SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春地区公民館 研修室(12月は講堂) 豊春第二公民館 和室		教 材 資料等	遊具、おもちゃ、絵本等				
実施ま での 経 過	前年度2月中旬 来年度の打合せ 毎月第3木曜日 豊春地区公民館で実施 毎月第2水曜日 豊春第二公民館で実施		P R 方法	ホームページ、公民館だより各号、公民館ブログに掲載				
			受付方法	会場となる公民館に電話または直接申込み、6月以降自由参加				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月20日(木)	10:00～11:30	〈豊春地区公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う。 	体験	5	10	15	豊春西地区 更正保護女性会 	
5月18日(木)				5	18	23		
6月15日(木)				5	16	21		
7月20日(木)				5	12	17		
8月17日(木)				9	9	18		
9月21日(木)				6	12	18		
10月19日(木)				10	19	29		
11月16日(木)				5	9	14		
12月21日(木)				17	42	59		
1月18日(木)				1	5	6		
2月15日(木)				1	11	12		
3月21日(木)				5	13	18		
小計12回	18時間			74	176	250		
4月12日(水)	10:00～11:30	〈豊春第二公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う。 	体験	3	13	16	豊春東地区 更正保護女性会 	
5月10日(水)				4	14	18		
6月14日(水)				1	13	14		
7月12日(水)				3	7	10		
8月 9日(水)				6	9	15		
9月13日(水)				5	5	10		
10月11日(水)				6	11	17		
11月 8日(水)				0	6	6		
12月13日(水)				9	28	37		
1月10日(水)				5	5	10		
2月14日(水)				9	11	20		
3月13日(水)				8	15	23		
小計12回	18時間			59	137	196		
24回	36時間			133	313	446		
企画運営上 の 工 夫	・0歳から5歳の子どもと保護者を対象に交流の場を作った。 ・年間を通して季節を感じられるイベントを企画した。豊春地区公民館の12月の親子の広場は、定員を超える申込みが予想されたため、大きい部屋へ会場を変更して、親子で楽しめるミニコンサートを開催した。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・親子の広場をとおして、子育ての情報や悩みを共有するため、参加者同士の交流や参加者と更生保護女性会の会員との交流が生まれた。 ・今年度は、全日程の開催ができ、前年度より多くの参加があった。							
課題と展望	・更生保護女性会や参加者の声を取り入れ、より充実した事業となるよう計画していく。							

事業名 テーマ	えほんの広場		対 象	乳幼児・保護者	定員	-	
ね ら い	絵本の読み聞かせを通して、子どもに絵本の楽しさを伝え、保護者には読み聞かせの仕方や大切さを伝えることにより、子どもが読書の習慣を身につけ、豊かな情操を育むことを目指す。						
協力機関 及び団体	地域文庫		特 色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 和室		教 材 資料等	絵本等			
実施までの 経 過	前年度2月中旬 来年度の打合せ 毎月第2木曜日 実施		P R 方法	公民館だより各号、公民館ブログに掲載			
			受付方法	豊春地区公民館に電話または直接申込み、6月以降自由参加			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月13日(木)	10:30～11:30	絵本の読み聞かせ等を通して、ことばの楽しさを伝える。	鑑賞 体験	0	0	0	地域文庫
5月11日(木)				0	2	2	
6月 8日(木)				2	2	4	
7月13日(木)				3	3	6	
8月10日(木)				1	3	4	
9月14日(木)				0	0	0	
10月12日(木)				6	10	16	
11月 9日(木)				3	3	6	
12月14日(木)				3	2	5	
1月11日(木)				0	0	0	
2月 8日(木)				0	2	2	
3月14日(木)				0	2	2	
12回				12時間			
企画運営上の工夫	・司書が薦める「とっておきのえほん100冊」を参加者に配布し、シールを付けて楽しんで読んでもらえるよう工夫をした。 ・読み聞かせに加えて、手遊びや体を使った遊び、お手玉などの昔遊びを取り入れた。						
成 果 参加者の声など	・絵本の読み聞かせだけでなく、年齢に合わせた絵本を保護者に紹介し、読み聞かせ活動の支援ができた。						
課題と展望	・参加者が少ないことから、保護者に向けて、事業の周知に力を入れていきたい。 ・次年度はイベント等を検討し、絵本の読み聞かせを通じた教育の推進を図っていきたい。						

